



* 国際交流・協力ネット...	1
* バスツアー	1
* 異文化トークサロン	2
* JICA活動紹介	2
* 日本語教室NOW	3
* お知らせ(3本)	3
* 行事カレンダー	4
* 新会員紹介	4

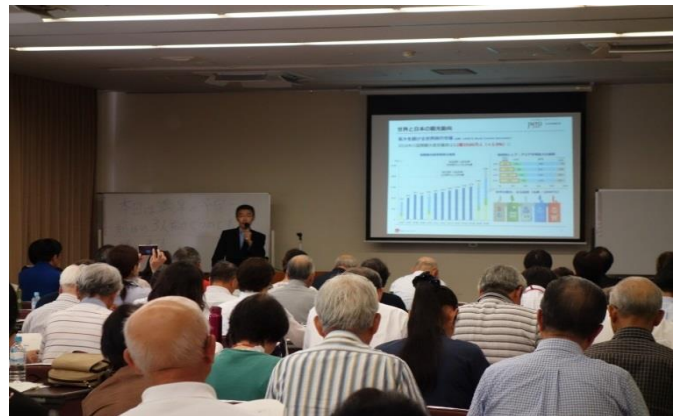
平成29年度国際交流・協力ネットワーク会議

7月11日県内の国際交流関係者132名の参加で、県民文化センター分館にて国際交流・協力ネットワーク会議が開催されました。

全体会議では、訪日外国人2400万人突破「インバウンド旅行の現状と可能性」についてと題した基調講演が行われ、ビザ要件緩和等の政府一丸となった取り組み、Lccの拡大による観光客増加、地方創生、質の高い観光等、持続可能なインバウンドについてのお話で、興味深い内容でした。

午後は「留学生とつくる地域の国際交流」「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた常陸大宮市の取り組み」「日本語教育支援の取り組みについて」の3つの分科会に分かれて活発な意見交換が行われました。

常陸大宮市はキャンプ誘致でパラオ共和国のホストタウンとなり、現在、研修生3名の受け入れを行っており、



両国の懸け橋となれるような取り組みの事例が発表されました。日々の各団体の国際交流活動への情熱が垣間見れる、有意義な会議でした。

佐々木 房子

バスツアー報告



7月23日交流部企画のバスツアーが開催されました。当日は連日の猛暑もなく湿度は高いもののキラキラした日光から解放されたバスツアーでした。

今年は佐倉市の国立歴史民俗博物館に行ってきました。参加者は外国出身者及びその家族・会員スタッフで38名。常総線戸頭駅を9時に出発し、市役所を経由し佐倉市へ向かいました。

バスの中では国際色豊かな楽しい会話の道中でした。11時に民俗博物館に到着しました。博物館は佐倉城跡の小高い丘にそびえる重厚で立派な建物です。日本の古代から現代まで日本人の生活にあるものが展示されており、面白いけど難しいとの声がありました。

そして楽しい昼食、皆さん自慢のお弁当を楽しそうに食べて話に花が咲いていました。

帰りに「佐倉ふるさとひろば」に立ち寄りひまわりと風車を楽しみました。当日はひまわり祭り最終日で午前中で刈り取る予定とのことでしたが、取手市国際交流協会の外国出身者の方々が来場予定ということで佐倉市観光協会の好意で刈り取りを3時まで延ばして見ることができました。ひまわりの中の女性、絵になります、いや写真になります。一斉に撮影会が始まりました。2時30分帰途につき、皆さん車中熟睡され、予定より早く4時前に取手に帰ってきました。暑い中何事もなく全員無事に帰ることができて幸いでした。

原田 信行



「異文化トークサロン」講演会

6月18日(日)福祉交流センターで「異文化トークサロン」の講演会が開催されました。講演題は「南太平洋の楽園フィジーの自然、文化、歴史」で、講師はTIFA会員の小田島満哉さんでした。小田島さんはJICAシニアボランティアとしてフィジーに2年+1年、合計3年間農業(酪農)の技術、経営指導者として活動され、今年5月に日本に帰国されました。

講演参加者は23名(TIFA会員16名、非会員7名)でした。講演内容はスライドを交え、フィジーの酪農の現状、改良しなければならない問題を分かり易く話していただきました。特に乳牛1頭当たり搾乳量を多くするために飼料の改良、乳牛の人工授精による品種改良等、普段では聞けない貴重なお話を頂きました。そのような専門的な話の間に、フィジーの教育、人種、自然に関する話題を入れて頂き、2時間の講演はあっという間に終了しました。



小田島さんが講演の最後に言われた言葉が印象深く心に残りました。「フィジーでは今まで乳牛は野原に放牧され草を食べ、自由に交配し、のんびりと生活していた。しかし、人間の都合により、管理され、寿命を短くされ、牛にとって幸せなことかな？」

鈴木 忠男

JICAシニアボランティア活動紹介



私はJICA(国際協力機構)の派遣で2014年から2年10か月間フィジーで農業の指導をしてきました。フィジーは300の島々に88万人(茨城県の1/3)が住む南太平洋の小国です。フィジーの農業はサトウキビが基幹産業であり米・野菜・果物も豊富に栽培されています。しかし牛乳と肉類は自給率が低く豪州やニュージーランドから輸入しています。現在フィジー農業省は「中期5か年計画」の中で牛乳の自給率100%を目指して取り組んでおり、フィジー政府から私への要請は「新しい牛乳生産技術の開発」でした。

取り組みの第一はフィジーの酪農家の牛乳生産技術が低位なことから酪農家が利用する「乳牛飼養管理技術体系」を作成することでした。農業試験場において種々の試験(栄養レベル・飼料給与量など)を実施して「フィジー版Feeding Standard」を作成し農家への普及をはかりました。次の取り組みは牛乳の生産を高めるための飼料開発でした。フィジーの酪農は「Grazing dairy」という飼養形態であり乳牛を一年中草地に放牧して牛乳を生産しています。牛乳の自給率を100%にするためには現在の1日1頭当たり牛乳生産量3.9リットルを5.7リットルに増やさなければ

なりません。そのためには草のほかに配合飼料を給与する必要がありました。しかしフィジーには配合飼料はなかったのでヤシ粕・サトウキビ粕・糖蜜などの未利用な飼料原料を発掘して新しい安価な配合飼料を開発しました。

農業試験場ではこの配合飼料を使った乳牛飼料給与試験を実施して「高位牛乳生産体系」を開発しました。また牛乳の生産性を向上させるためには飼料だけではなく乳牛の育種改良にも取り組む必要があり雄牛サイドからは「人工授精技術」で、雌牛サイドからは「受精卵移植技術」を指導しました。特に受精卵移植についてはフィジー農業省に対しメリットを啓蒙し、さらに農業試験場の乳牛担当者を日本に留学させて新しい技術を習得させました。フィジーで行われている「Grazing dairy」は動物福祉の観点に立った優れた飼養管理手法です。このメリットは生産管理費が低く乳牛の寿命が長くそして疾病が少ないことです。これに対し日本の乳牛は「経済動物」という観点で過剰な牛乳生産をするため乳飼比が高くなり乳牛の疾病にも悩まされ極端に寿命が短くなっています。今後は日本においても動物福祉の観点を取り入れて生産コスト低減による経営改善をはかる必要があります。

小田島 満哉



はじめまして。私はメリセ・ガルシアと言います。ベネズエラからは、今年の2月に日本に来ました。父はベネズエラ人、母は日本人です。ベネズエラで生まれて、ベネズエラで育ちました。

ベネズエラは、南アメリカ大陸の一番上にあります。北にはカリブ海が広がっていて、東側にはアンデス山脈があり、コロンビアへ続いています。西側は大西洋です。そして南は、ブラジルに接しています。そのため熱帯気候の国ですが、色々な気候に分かれていて、自然は、とても豊かです。世界自然遺産になっている「世界一高いエンジェルの滝」を始めとして、美しい植物や鳥、多くの動物たち、1年中泳ぐことのできるカリブの海など、とても美しい国です。

ベネズエラも野球が盛んです。日本でもベネズエラ出身の選手がたくさん活躍してきましたが、最も有名なのは横浜DeNA ベイスターズのラミネス監督だと思いません。

私は、ベネズエラで観光ガイドの仕事をしていました。たくさんの日本人の皆さんに、ベネズエラの自然・文化を案内してきました。でも、まだ日本語を読んだり書いたりすることが、うまくできません。これから日本語と日本の



色々な事について勉強して、スペイン語と日本語を使った仕事ができたら、嬉しいと考えています。

お知らせ

がいこくごとにほんごのおはなし会

【主催】 取りでしりつ としよかん
日本語とインドネシア語・スペイン語・
中国語・ベトナム語を交互で絵本の
読み聞かせをします。

【日時・場所等】

- * 2017年9月24日(日)
13:30~15:00 入場無料
- * ふじしろ図書館2階集会室
- * 定員80名(直接会場へ)
- * 協力団体 TIFA



手賀沼ウォーキング

JR北柏駅から天王台駅までの約8
kmを手賀沼沿いに歩きます。途中
“水の館”やプラネタリウムを見て、
手賀沼を満喫するウォーキングで
す。

【日時・場所等】

- * 2017年10月15日(日)
- * JR取手駅西口9:20集合
我孫子乗換、北柏10:30出発
- * 参加費 200円(旅行保険料)
- * 交通費・入場料は各自負担



交流部会参加へのお誘い

交流部会は毎月1回開催、TIFA会員
であればどなたでも出席できます。
部会に出席イベントの計画に参加
して見ませんか！

【日時・場所等】

- * 福祉交流センター13:30~15:00
- * 第5回 8月13日(日)
2階AB会議室
- * 第6回 9月10日(日)
ボランティアルーム



行事カレンダー

全体行事

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

8月 ◇ 4日 戸頭英会話講座
 ◇ 9日 かわら版郵送 10:00～
 ◇ 13日 交流部会 13:30～
 ◇ 19日 役員会 13:30～
 ◇ 25日 さくら荘シニア英語

9月 ◇ 1日 戸頭英会話講座
 ◇ 3日 TCS 13:30～
 ◇ 6日 かわら版編集会議 10:00～
 ◇ 10日 交流部会 13:30～
 ◇ 17日 役員会 13:30～
 ◇ 22日 さくら荘シニア英語
 ◇ 24日 がいこくごと にほんごの
 おはなし会 13:30～

日本語教室

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

8月 ◇ 夏休み

9月 ◇ 中央教室(福祉会館)
 * 金曜 10:00～11:30
 * 金曜 18:00～19:30

◇ 戸頭教室(戸頭公民館)
 * 日曜 10:30～12:00
 * 火曜 19:30～21:00

新会員紹介 (敬称略)

- | | | |
|---------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 小倉 千鶴(日本) | 9. バンダリ・チョク・バハドル
(ネパール) | 15. ラー・ティ・キエウ・オアン
(ベトナム) |
| 2. 戸井 常郎(日本) | 10. 小田島 曜子(日本) | 16. ホアン・ティ・フォン(ベトナム) |
| 3. レー・ティ・トウェイ(ベトナム) | 11. リチャード・ニコラス・S.T.・パトリ
(ジャマイカ) | 17. 劉 穎(中国) |
| 4. グエン・ティ・ハー(ベトナム) | 12. 劉 駿(中国) | 18. アオキ・カルロス・エンリケ・
モリュキ(ブラジル) |
| 5. カネダ・ヒロシ(ブラジル) | 13. 内藤 祐吉(日本) | 19. オノ・ティシェイラ・ロドリゴ・
マサヒコ(ブラジル) |
| 6. カネダ・エリザベチ(ブラジル) | 14. ブィ・ティ・ガン(ベトナム) | 20. ネウバネ・ティラク(ネパール) |
| 7. 内田 恒太(日本) | | |
| 8. 江守 亜希子(日本) | | |

連絡先

取手市国際交流協会(TIFA) ◇事務局 取手市役所秘書課内

- ・ TEL:0297-74-2141 内線1112
- ・ E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp
- ・ ホームページ:http://www.tifa-japan.com



ホームページのQRコード

